

「2016 民進党国会レポート」発刊にあたり

蓄積から深化へ。

民進党国会レポート第一号をお届けします。



民進党政務調査会長 **大串 博志**

2016年3月27日、私たちは民進党を結党しました。それを受け、民進党としての第1号となる国会レポートをここに発刊します。

国会レポートは、民主党政務調査会の政策活動記録として2009年まで毎年発刊された後、中断期間を挟んで昨年、細野豪志政調会長（当時）の決断によって再開されたものです。民進党の政策活動の決算書と言ってもよいと思います。

第190回通常国会においては、民進党の初代政務調査会長となった山尾志桜里会長の下、政務調査会は一丸となって安倍内閣に対峙し、国会論戦や議員立法活動を通じて民進党の政策を練磨してまいりました。さらに、第24回参議院議員通常選挙の重点政策として「人からはじまる経済再生～民進党・国民との約束」を策定し、26分野、約200項

目にわたる詳細な政策をカバーする「民進党政策集2016」も取りまとめました。本レポートを通じ、党员、サポーター、そして広く国民の皆様方に私たちの活動内容を是非知っていただければ、これに勝る喜びはありません。

さる9月15日、臨時党大会で蓮舫新代表が選出され、新体制が発足しました。蓮舫代表は、「提案・創造型」の政策活動を推進し、「既得権や癒着と闘う改革政党として、リアリティのある政策を提案し、実現能力があることを示していく」という決意を表明しています。政務調査会長を拝命した私としても、民進党の魅力ある「政策」をさらに深化させ、いつでも政権交代に対応できるような政策と組織づくりに努力する所存です。皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。